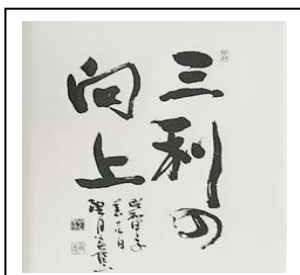
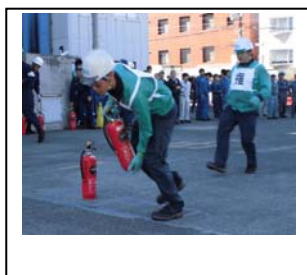




CSRレポート 2015



創業の精神 社是「三利の向上」

社是に「三利の向上」を掲げています。これは、創業者の貴重な経験と努力から生まれた、会社のあり方についてまとめたものですが、創業者の理念として、現在の「理想の姿」が生まれた背景になっています。

三利とは、お客様、社員、社会の三者の利をいいます。この三者がいかなる場合にも共に利あるよう全社員が一丸となって努力します。

各人が互譲、信頼の精神並びに共治、共栄、共福を達成し、社会に貢献していきます。

私たちが目指す「理想の姿」

1. 独自の技術・サービスでワーキングアメニティを創造し、豊かな社会の実現に貢献します。
2. 配管業に携わる方々をメイン顧客とし、感動を与える製品・サービスの提供を通じて、信頼される会社を実現します。
3. 社員一人ひとりが元気と笑顔で、働きがいのある会社を実現します。

トップコメント



代表取締役社長
宮川 純一

<「パイピング ソリューション」で社会貢献>

- ◆ レックス工業では、水道やガスなど我々の毎日の生活になくしてはならないライフラインの確保の為、配管設備など様々な分野での商品開発に力を注いでいます。「パイピング ソリューション」を合言葉に、あらゆる配管のトラブルや課題解決を通じてお客様の満足度の向上や社会貢献に取り組んでいます。
- ◆ 近年は特に震災などの災害に強い耐震性・耐久性に優れた配管システムの提案や、作業現場で働く人々の作業環境や環境保全など、お客様視点でのモノづくりを基本に、高品質な商品・サービスの提供を目指しています。

<CSR活動推進で人も企業も成長>

- ◆ レックスではCSR活動（社会貢献）を大きく3つの分野で取り組んでいます。
 - ① 商品・サービスの提供を通じて社会インフラの整備に貢献
 - ② 障がい者雇用やボランティア活動を通じての地域社会への貢献
 - ③ 環境にやさしい商品作りや、省エネ・リサイクルで地球環境保全への貢献これらの活動を我々メンバー一人ひとりが「当たり前の行動」として積極的に取り組み、人（従業員）の成長を通じて「社会から選ばれる企業」を目指します。

<そして「私たちが目指す理想の姿」実現のために>

- ◆ 日本企業は、為替・エネルギー・税制など六重苦に苦しめられてきました。そんな逆風のなか「日本のメーカー」として生き残るには、日本人が日本でしか出来ない商品サービスを提供し続けることだと思います。
- ◆ 一方で、世界で競争力のある商品を市場に提供するには、レックスの中国・アメリカの工場や世界各地のビジネスパートナーとの連携が大変重要です。これらのグローバルパートナーは、今年の熊本地震や5年前の東日本大震災、またタイ洪水などの災害や中国リスク等による事業継続計画（BCP）のリスクマネジメントにも重要な存在です。
- ◆ 最後に社内においては「ほめ合える文化」の浸透を通じて「個人も職場もやりがいがあり、達成感が得られる環境づくり」を推進しています。そして「笑顔」いっぱいの会社を目指します。

For the NEXT STAGE

レッキスのモノづくりは「お客様の喜んで頂く顔」をコンセプトに開発を進め、

現場作業に見合った最適な商品の提供を目指しています

これまでに耐震工法としてポリエチレン管の融着工法や、転造ねじ加工技術などを活かして、社会インフラの整備に役立ってきました。そのための弊社商品（機械・工具）は、より「使い易く」「安全に」など、お客様の声を聞きながら、改良を続けています。このことはインフラ整備を「より確実に」「より早く」にも貢献でき、作業者と作業現場に密着した商品開発のために、お客様の声に耳を傾け共に歩んでいきたいと考えています。

お客様カードの収集・分析

アンケートにお答え頂き
ご返送頂いたお客様
下記商品の中から希望の商品を1点プレゼント！

全員に
プレゼント
進呈！

①ワークグローブ
(レッキスオリジナル3点)

②図書カード
(図書カード2000)

お客様とレッキスをつなぐお客様カード
この度はレッキスの製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。

お買上商品名
番 号

●ご希望のプレゼントを○で囲んで下さい。
①ワークグローブ ②図書カード

●貴社の製品カタログを希望されますか。
①はい ②いいえ

アンケートにご協力お願ひ致します

Q1: 貴社の主な仕事はなんですか。(複数回答可)
①水道 ②排水 ③ガス ④空調 ⑤電気 ⑥工機 ⑦その他

Q2: ご購入いただいた製品はどのような用途に使用されていますか。(複数回答可)
①カタログ ②調査書 ③設計 ④個人の紹介 ⑤以前より使用 ⑥チラシ
⑦営業資料の配布 ⑧その他

Q3: ご購入の際に付随したメーカーがなければご記入下さい。
比較しなかった場合は空欄で構いません。(複数回答可)
①アサダ ②MCC ③リジッド ④オグラ ⑤新ダイワ ⑥日立工機
⑦シブサ ⑧マキタ ⑨比較メーカーなし ⑩その他

Q4: お希望の製品を購入される際の「重要度」と
レッキス製品についての「満足度」を右の欄に御回答下さい。

	重要度	満足度
①使いやすさについて	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
②耐久性について	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
③価格について	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
④大きさについて	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑤持ち運びやすさ(重量)について	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑥価格について	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑦メンテナンスについて	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

Q5: 貴社に使用する「満足度」を右の欄に御回答下さい。
①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満

Q6: 何かお気づきの点、ご意見があればご記入下さい。
(簡易してはいい・敬遠してはいい(商品など))

新ガス用EFコントローラ



主な製品に「お客様カード」を同梱し、アンケートに記入して返送してもらっています。

実際にご使用いただいて、その使いやすさなどの点数記入と、製品に対する気づき「開発してほしい・取扱ってほしい商品など」、ご意見の記入をいただいています。

製品に対するご意見では、手厳しい意見も有りますが、この意見をしっかりと受け止めて、次の改善・改良や、新製品のヒントとして開発を進めています。また社内での新製品提案制度も充実させ、お客様に感動していただける製品の提供を目指しています。

お客様の声を反映させて、さらに使いやすくを実現させた製品「ガス用PE管EFコントローラGEF200B-II」です。

付属品の収納スペースの拡大や、液晶画面の大型化など「使い勝手の向上」を図り、長期使用に耐える、軽量で丈夫なダイカストボディの採用や、電極アダプタ交換を可能にするなど「メンテナンス性向上」を実現しました。

また、GPS機能を搭載し、配管（融着）作業時に位置情報を記録するなど、お客様視点で進化し続けています。

障がい者雇用を通じて

健全者と障がい者が自然と協働できる組織風土と本業を活かした社会貢献

創業者が一人の聴覚障がいのある方を雇い入れて70年以上、障がいを持たれた方と一緒に仕事をしています。この間、仕事面では障がいの有無を問わず先輩が後輩を教え、サークル改善活動などは共に。交友面では慰安旅行や納涼パーティー・新年会など手話を使って多くの話をしています。

そんな「健全者と障がい者が自然に協働できる組織風土と、本業を活かした社会貢献」が強みとして外部機関にも評価されました。今後は社外にも目を向け、今以上に支援学校や福祉作業所の方々との交流なども大切に、障がい者への作業の提供や、支援を進めてまいります。

障がい者雇用

高い障がい者雇用率を維持しており（2016年3月時点：11%）、長年の取り組みにより、障がい者を継続的に受け入れるための社内の仕組みや環境が整ったと感じております。これからも雇用率10%維持を目標として、働きやすい職場づくりを進めてまいります。

支援学校との交流

府内にある障がい者支援学校との交流を深めています。今年度も2校より2名の職場体験研修の受入れと、生徒さんの工場見学を受入れました。

また、今年はこれまでの花壇以外に、工場内にある花壇にも綺麗な花を、植えていただきました。

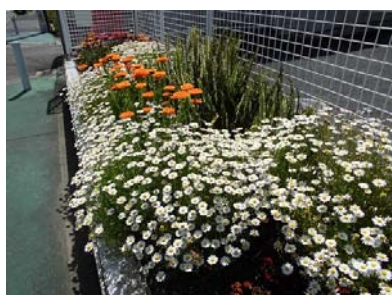


職場体験・研修風景



生徒さんの工場見学風景

当社からは、植花のお礼に災害時の帰宅ツールセットを寄付し、学校並びに生徒会会長からもお礼状が届きました。他、支援高校のオープンレストランへの協力や、展示のために生徒さんの絵画をお借りするなど、数多くの交流ができました。来年もまた新たな交流を進めていきたいと考えています。



工場前の花壇



工場内・中央棟横の花壇

福祉作業所への作業提供

隔週で作業所からトラックで当社から排出されるダンボールの収集にきていただいています。障がい者雇用率をより高くは直ぐにできませんが、障がい者の方々への作業提供は創出できるものと考え、2015年12月より東大阪工場内の男子トイレの清掃をお願いしています。毎朝、作業所より2名の方が来られ、綺麗に清掃していただいています。今後もお願いできる作業を増やしていけるよう検討を進めてまいります。



ダンボール収集の様子



働く障がい者への支援

5月の第二日曜日は恒例の東大阪市民ふれあい祭りです。快晴のもと従業員とその家族の皆様の協力でも今年も模擬店を開きました。協賛企業様からも多くのバザー品の提供を受け販売しました。収益金は全て「大阪府布施障害者雇用対策協議会」へ寄付し、働く障がい者の雇用継続のために使っていただいています。



そんな働く障がい者のつどいが、今年も「吉本なんばグランド花月」(観劇鑑賞)で、おこなわれました。



9月の障害者雇用月間では、布施駅前での広報を兼ねてポケットティッシュ配りに参加しています。支援学校に借りた生徒さんの絵画を写真に撮り、表紙に使っています。一人でも多くの方に障害者雇用について知ってもらおうと、毎年、参加しています。



地球環境を大切にした活動の展開

事業活動を通じて、環境保護に貢献

環境方針「事業活動を通じて、環境保護に貢献する」は、機械工具製造メーカーとして自社商品の環境配慮が最大のテーマとなり、今では全開発商品が環境配慮型になっています。また、それに関連して省エネ（電力削減など）や、排出される無駄なゴミの削減（リサイクル率向上）など継続して取り組んでいます。

環境対応商品の開発

新商品を企画する段階から環境への配慮を徹底しています。新商品企画書には「環境配慮」を記入する枠があり、その枠に、環境への配慮の記載がなければ、承認されないシステムになっています。

◆銅管工具では「コードレスフレア RF20S」が使いやすさとスピーディな作業を可能にしました。本体重量の28%ダウン（電池セット時）と、レッキスオリジナル技術が生み出した商品です。



コードレスフレア RF20S

環境対応商品の販売

電力の供給事情や、値上げなどで企業として省電力に努力する現代、当社も省電力に関する商品を提供しています。LED照明より長寿命の「無電極ランプ」や、屋根の熱を防ぎ室内を快適空間に近づける「冷えルーフ」など、自社で使用を続けながらお客様に紹介しています。

◆「無電極プラズマランプ」は工場内の水銀灯と比較し、省電力でLEDより長寿命＋光束維持率が高く、最適な照明です。



◆「冷えルーフ」は屋根の上に貼る遮断シートで夏は太陽光を遮り（屋根の表面最大-20℃）、冬場は屋根の表面を冷やさないう温度低下を抑制します。



節電対策1 製造における効率生産

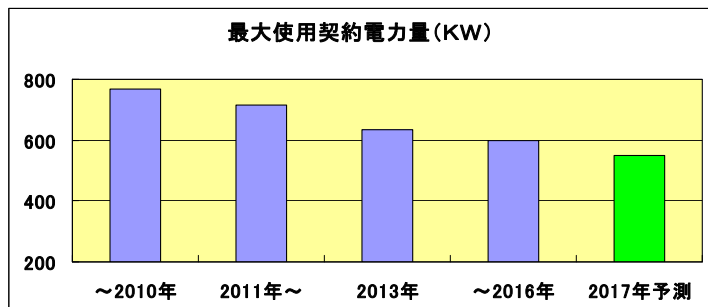
商品の製造過程では社内工場では部品を1秒でも短い時間で加工・組立できるように継続的な改善を進めています。目標を電力量に置き換え、部品加工では前年より12.24Kwhの削減ができました。

今後も電力量削減を目標にした製造の効率生産を押し進めていきます。



節電対策 2 主要部署の照明設備改善

自社商品「無電極ランプ」の生産棟への設置、事務所棟においてもLED照明化を進め、主要部署の照明による節電対策を終えました。計算上の効果は、今年度だけで工場棟の瞬時電力約20Kwの削減となりました。これで現在契約の「最大使用契約電力量」の見直しも可能となり、次の契約タイミングでの引き下げを検討しています。

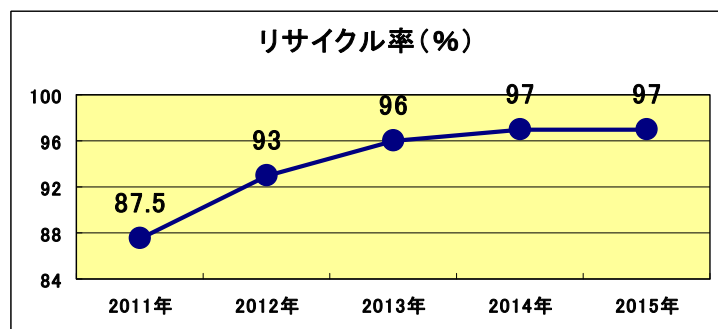


<対策事例>

2015年度、生産棟の電灯
110W球 118本、
40W球 160本を撤去
↓
無電極ランプ
150W球 53本を設置

廃棄物リサイクル率の維持・向上

廃棄物の徹底した分別により「可燃ごみ」を減らし、他の排出物を再使用・リサイクルすることによるリサイクル率維持・向上を進めています。部材の仕入先様への啓蒙（場内資源置き場配置図掲示や、環境活動への協力文書配布など）も積極的に行い、全社のリサイクル率は97%まで達しました。



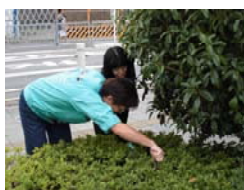
分別の一つエコキャップ運動も5年が経ち、これまでに約24,000個ものキャップを集め、協会へ提供しました。エコキャップは福祉作業所の作業を産み、子供達へのワクチンへと変わります。

年度	～2012	2013	2014	2015	合計
キャップ提供数	8840	3784	7697	3741	24,062 個



地域清掃活動

今年もテクノサービス部が東大阪工場周辺を毎週清掃し、環境担当メンバーは秋に近鉄河内花園駅周辺の清掃を行いました。生垣の中にはジュースの缶やビンが多く捨てられており、手を伸ばして拾い集めました。来年度からは、駅前清掃の回数を春と秋の2回に増やし、環境意識を高めていきます。





一人ひとりの社員が元気で笑顔を絶やさず働ける会社を目指しています。そのためには職場は安全第一で、法令・社会マナーも守らなければなりません。そんな「働きのいい会社」に向かって色んな取り組みを行っています。

法令遵守の徹底 …… QMS 内部監査での確認実施

各部署が関連法令をしっかりと把握するため品質内部監査の監査要領に組み込み、監査員が法令遵守の確認をしました。結果は一部の部署で気づかないまま使用していた機器の管理が課題となり、理解と改善が進みました。今後は、遵守するシステムづくりを進めていきます。



安全衛生活動 …… 「労働災害0を目標に」

安全衛生委員会でこれまでに多くの安全・衛生に関する課題の改善を行ってきました。目に見える危険な箇所は減り、今年度は僅かながら労働災害が減りました。目標はあくまで災害0件です。危険な箇所や作業はないか？今後も社内5Sパトロールを続けていきます。

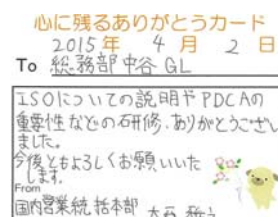
年度	2011	2012	2013	2014	2015
労働災害件数	7件	4件	4件	5件	3件



笑顔あふれる会社を目指して

感謝の気持ちを伝えるための「ほめ合える掲示板」を開設して4年目となり、多くの「ありがとう！」が書き込まれています。全員参画を目指し「ありがとうカード」を活発にやり取りされている企業にもお邪魔し、啓蒙の参考にもさせていただきました。参加率は（2014年）60% ⇒ （2015年）69%と増えています。2020年には全員参加100%を目指しています。

年度	2012	2013	2014	2015
ありがとう件数	456	942	1301	1935
参加率 (%)	47	54	60	69



ストレスチェックの実施

労働安全衛生法が改正され「ストレスチェック」の実施が義務化されました。それに合わせ2月に初めての調査を行いました。今後は継続的な実施と結果の評価、課題の改善を進めていきます。

また、毎年行っています健康診断の充実も図り、従業員の健康状態に注力し、働きのいい会社を目指していきます。

